

2016年1月28日

各位

塩野義製薬株式会社  
日産化学工業株式会社

## 新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結のお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）と日産化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木下 小次郎、以下「日産化学」）は、本日、塩野義製薬の新規抗真菌薬創製に関する創薬プログラムについて、共同研究を行う契約を締結しましたのでお知らせいたします。

真菌感染症領域は、感染症薬物治療の中でもアンメット・メディカルニーズが高く、より有効で安全性の高い治療薬が求められています。その例として、2013年と2014年の厚生労働省「院内感染対策サーベイランス事業」の調査において、カンジダ（*Candida albicans*）が緑膿菌や腸球菌とともに高頻度で入院患者の血液検体から検出されていること、さらに2013年に国立感染症研究所から、アスペルギルス属が易感染性の患者から高頻度で分離され、カンジダと同様の致死性を示すことが報告されています。

両社は、低分子創薬に強みをもち感染症を重点疾患領域とする塩野義製薬の創薬力と、日産化学の高い化合物デザイン力と有機合成力に基づく SAR（Structure-Activity Relationship: 構造活性相関）研究力との相乗効果を高めることで、新規抗真菌薬の開発候補化合物を創出し、より早期に患者さまに治療薬をお届けできるよう努めてまいります。さらに、パートナー企業やアカデミアとのリスクシェア型共同研究の積極的な活用により、「社内リソースの効率的配分」と「プログラムパイプラインの充実」の両立に取り組んでまいります。

以上

### 塩野義製薬株式会社について

塩野義製薬は50年以上にわたり革新的な感染症治療薬の研究開発並びに販売をおこなっています。また「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という経営理念のもと、研究開発型の製薬企業として、患者さまに最もよい薬をグローバルに提供することに注力しています。現在は感染症、疼痛・神経領域を研究開発の重点疾患領域とし、さらに、肥満・老年代謝性疾患や腫瘍・免疫疾患など、新たな疾患領域の研究開発にも取り組んでいます。塩野義製薬は、これらの疾患領域における革新的新薬の提供を通じて、世界中の皆さまの健康とQOLの改善に貢献してまいります。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.shionogi.co.jp>

### 日産化学工業株式会社について

日産化学は、「人類の生存と発展に貢献する企業グループ」というコーポレートビジョンのもと、これまで培ってきたコア技術を駆使し、新製品の開発、新事業の創出にまい進しています。医薬品事業としては、1982年に進出して以来、ケトプロフェンの外用製剤、カルシウム拮抗剤、スタチン系脂質異常症治療剤を上市してきました。今後も精密有機合成技術、戦略的に構築した化合物ライブラリーおよび最先端評価機能を活用し、世界中のかけがえのない生命と笑顔のために、画期的新薬の研究開発に挑戦し続けてまいります。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.nissanchem.co.jp>

&lt;お問い合わせ先&gt;

塩野義製薬株式会社 広報部

大阪 TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596

東京 TEL : 03-3406-8164 FAX : 03-3406-8099

日産化学工業株式会社 経営企画部

TEL : 03-3296-8320